

開講年度	令和3年度	開講期間	前期
科目名	総合臨床実習 I (長期実習)		
担当教員	臨床実習指導者 教員		
学年	4年	学科	作業
単位数	8単位	時間数	360時間
学習目標	<p>総合臨床実習(長期実習)は、臨床の現場において作業療法士として総合リハビリテーションサービスを体験する重要な科目である。 病期や障がいを持たれた方々を通して、評価、治療計画の立案、治療の実施等の一貫した治療行為及び情報収集等を習得する。またチームワーキング、作業療法士として役割、責任感を体験すると共に今後の進路や研究課題等を検討する機会でもある。</p>		
授業計画	<p>実習期間</p> <p>1期 令和3年4月5日(月) ～ 令和3年5月29日(土)</p> <p>2期 令和3年6月7日(月) ～ 令和3年7月31日(土)</p> <p>* 1期または2期のどちらかの期間で実施</p> <p>* 注意</p> <p>カリキュラム上前期の科目であるが、実習期間・実習施設等の受け入れ状況により前期から後期にまたがって行う。</p>		
教科書	実習中は、これまで購入した教科書、参考書籍、講義資料等が必要である。		
参考書	実習指導者、教員等に必要な参考書籍、参考文献を確認すること。		
評価方法	実習指導者の評点、学内での報告、実習中のレポート、出席状況等を考慮し、評価する。		
備考			

開講年度	令和3年度	開講期間	前期
科目名	総合臨床実習Ⅱ(長期実習)		
担当教員	臨床実習指導者 教員		
学年	4年	学科	作業
単位数	8単位	時間数	360時間
学習目標	<p>総合臨床実習(長期実習)は、臨床の現場において作業療法士として総合リハビリテーションサービスを体験する重要な科目である。 病期や障がいを持たれた方々を通して、評価、治療計画の立案、治療の実施等の一貫した治療行為及び情報収集等を習得する。またチームワーキング、作業療法士として役割、責任感を体験すると共に今後の進路や研究課題等を検討する機会でもある。</p>		
授業計画	<p>実習期間</p> <p>2期 令和3年6月7日(月) ～ 令和3年7月31日(土)</p> <p>3期 令和3年8月23日(月) ～ 令和3年10月16日(土)</p> <p>* 2期または3期のどちらかの期間で実施</p> <p>* 注意</p> <p>カリキュラム上前期の科目であるが、実習期間・実習施設等の受け入れ状況により前期から後期にまたがって行う。</p>		
教科書	実習中は、これまで購入した教科書、参考書籍、講義資料等が必要である。		
参考書	実習指導者、教員等に必要な参考書籍、参考文献を確認すること。		
評価方法	実習指導者の評点、学内での報告、実習中のレポート、出席状況等を考慮し、評価する。		
備考			

開講年度	令和3年度	開講期間	通年
科目名	作業療法総合演習		
担当教員	作業療法学科専任教員		
学年	4年	学科	作業
単位数	5単位	時間数	150時間
学習目標	<p>1年次から3年次までの期間及び臨床実習Ⅱで学んだ知識・技術の復習をする科目である。卒業後は、作業療法士として臨床現場で治療行為を行うとともに、リハビリテーションサービスを提供する専門家として従事しなければならないための学習を行う。</p> <p>学習内容： ① 作業療法士としての基礎知識・専門知識、技術を再学習する。 ② 国家試験合格を確実にするための個別学習、グループ学習、対策講座、実力模擬試験を行う。</p>		
授業計画	<p>履修期は後期であるが2021年3月より卒業研究を実施する。</p> <p>■国家試験対策</p> <p>学習形式：個別学習およびグループ学習</p> <p>学習計画：3月より、現時点における学習習得状況の分析と総合臨床実習Ⅰ・Ⅱおよび国家試験合格に向けての計画立案。</p> <p>学習内容：4月より、過去5年分の解剖学・運動学・生理学・評価学の問題を解き、教科書を中心に解説ノートを作成する</p> <p>■学力把握のための実力模擬試験</p> <p>医歯薬模試： 1回目 2021年8月20日(金) 2回目 2021年12月17日(金) 3回目 2022年1月28日(金)</p> <p>三輪模試 冬 2022年1月6日(木)</p> <p>■卒業試験</p> <p>1回目 2021年4月2日(金) 2回目 2021年11月27日(土) 3回目 2022年2月4日(金)</p>		
教科書	国試対策資料・各教科教科書		
参考書	<p>国家試験対策本の紹介： 『理学療法士・作業療法士 国家試験必修ポイント 理学療法 基礎編/基礎医学編/疾患別 2021』 『理学療法士・作業療法士 国家試験問題 解答と解説 2021』 『クエスチョン・バンク理学療法士 国家試験問題解説 共通問題/専門問題 2021』</p>		
評価方法	卒業試験第1～3回で以上60%(168点)以上、かつ、実地問題40問中15問以上をもって合格、本講の単位認定とする。卒業試験受験資格：150時間受講したもの+α100時間達成したものに関しては、第3回卒業試験に対して1点の加点とする。		
備考	<p>基本的には国家試験の参考書は使わないで教科書、授業中のプリント、講義ノートで勉強を進めよう。 根拠：国家試験の参考書はすぐに答えが載っており知識の枝がつかない。教科書などを調べることにより知識の枝が付き、応用問題が解けてくる。また問題の周辺の知識も理解して暗記する。どうしても解らないときは国家試験の参考書を見ることを許可する。</p>		